

gooddays

Vol. **33**

around **KANDA NISHIKI - CHO**
New Culture & Alternative Lifestyle

2023 SUMMER ISSUE
PRICE 0 YEN

「バーで仕事終わりの一杯を」





around KANDA NISHIKI - CHO

Special Issue 33 Summer '23

バーで仕事終わりの1杯を

TEXT・Taichi Ueda / Aki Murayama / Monami cho
 PHOTO・Yuta Suzuki / Satoshi Tachibana / Monami Cho

神田の懐の深さを侮るなかれ。
 レトロな喫茶店、カレー屋、本屋、居酒屋、アウトドアショップ、レコード店、etc。さまざまな切り口で語られる神田ですが、実は、深い夜のお酒の嗜み、バーのシーンまで充実しているのを知っていましたか？
 オーセンティックなバーだけでなく、最新のお酒のトレンドを発信する先進的なお店や書店

Q.何をどう注文していいかわからないのですが？

初めの方は、おすすめで、O.Sだとおもうのですが、そこに少し自分の希望も加えると、より自分好みのお酒が出てきますよ。例えば、ウイスキーだったら、フルーティーかスモーキーかとか、さっぱりとかコクがあるとか、ひとことキーワードを添えることをおすすめますね。
 (COVER CLUB 上田ゆうな)



Q.バーでの過ごし方がよく分からなくて不安です。

それぞれ好きに過ごせばいいと思いますよ。もちろん話をしにくる人もいますが、本を読む方もいますし、黙ってお酒を楽しむ方もいますし、バーテンダーに好きな質問してもらっても構いません。本当に自由です。
 (カクテルワークス 岡村さん)



の中に隠れた書齋バー、女性バーテンダーが活躍するバーなど、そのラインナップも実にユニークです。
 「バーは敷居が高くてちょっと……」と尻込みするのはもったいない。
 BAR = 宿り木。好きなお酒をとことん極めるでもいいし、音楽を楽しむだけでもいいし、愚痴をこぼしたりでもいいし、楽しかったこと

を共有するでもいい。仕事場や家とも違う第三の居場所を持つことは、自分の世界を広げ、きっと生活を豊かにしてくれるはずですよ。
 今回の特集では、初心者でも安心、扉を開ければ素敵なバーテンダーが迎えてくれる神田のバーを紹介します。

ショッピングやグルメを楽しめる、新旧入り混じった神田錦町界隈。毎号テーマに沿って、こだわりのある人にインタビュー。神田のヒト・モノ・コトに出会える情報チャンネルです。

CLOVER CLUB 店主
上田けいさん

2022年11月に神田錦町に「CLOVER CLUB」を開店。ダイニングバーや新宿3丁目の有名店等でバーテンダーとしての経験を積み、独立。「神田エリアは喫茶店が好きなのでよく来ていた。オフィス街でもあり、自分の目指すバーが実現できたと思った」



初心者へも常に扉が開かれているようなバーをつくりたい

神田錦町のグリッチコーヒーのすぐお隣に“路面店”としてオープンしたのが「CLOVER CLUB」。女性バーテンダーとして店を切り盛りする店主の上田さんが、10年近くのバーテンダー経験を踏まえて、特にこだわったのがバーへの親しみやすさ。「私はバーが大好きで。友人でもなく同僚でもなく家族でもない、また別の関係性がバーにはあって、疲れをリセットしたり、いいことがあった時に報告しに行く場であったり。身内以外のあたたかさがある。地下や隠れ家的な場所にあるだけではもったいない。だから私は路面にこだわって、初心者へも常に扉が開かれているようなバーが作りたいたいなど」

とはいえ、お酒の種類は充実。メインは250種類以上ストックのあるウイスキー。5大ウイスキーはも

ちろん、日本のウイスキーや貴重なビンテージも目押し。ストレートやロック、ハイボール、カクテルなど飲み方は人それぞれ。ポトルキープの陳列棚に目を向けると、地元商店会さんや錦町に拠点を構える企業、お店や書店さんの名前がずらりと並びます。「神田は本当に横のつながりがあったかい。協力し合う感覚が素敵だなと。先日も喫茶店の店主がうちのバーを紹介してくれたり、深夜帯は同業の仲間が飲みに来てくれたり」今後は神田というまちの特性を活かし、女性バーテンダーの働く環境をもっと整えたいと昼食態の開発にもチャレンジしていく予定だとか。バー初心者の方ももちろん、そうじゃない方も、柔らかくも強い意志を持った上田さんの宿り木を訪れてみてください。きっとバーの魅力に気づくはずですよ。

gooddays channel



CLOVER CLUB

東京都千代田区神田錦町3-16-11 エルヴァージュ神田錦町1F

03-6773-7069

平日18:00-26:00(L.O. 25:30) 土日祝18:00-24:00(L.O. 23:30) 月休

<https://clover-club-jimbocho.com/>

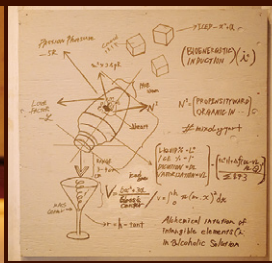
「シガニサワー」

お店のおすすめは、いま上田さんが注目しているポリビアの蒸留酒「シガニ」という珍しいお酒を使ったサワーカクテル。柑橘の酸味と卵白のまろやかさがシガニの華やかさとよくマッチ。チョコレートとの相性も抜群です。



Cocktail Works 神保町 店長
岡村菜穂子さん

さまざまな店舗でバーテンダーの経験を積み、4年前より現職。バーの仕事の醍醐味は、「人との縁をずっと感じられるところ。一度会った人とは、お店が変わっても、必ずまた会えるんですね。不思議なことに」



初めての人もぴったり。より気軽に入れるバーを

お店の扉を開くと、まず目に飛び込んでくるのがバーカウンターの上にずらりと陳列されたクラフトジンのボトルたち。まさに圧巻。お洒落で個性豊かなラベルデザインを眺めているだけで、気持ちがワクワクと高ぶります。

「Cocktail Works 神保町」は6年前にオープン。淡路町にある「オーチャードナイト」が、作業場をコンセプトに、大箱で、より気軽に入れるバーを、と新しく立ち上げたお店。オーセンティックなバーのイメージとは異なり、洗練されたインダストリアルな内装で、若い層にも人気があるのも納得です。

「バーとしてのこだわりは、やっぱりクラフトジンですかね。前の店長がいろいろ集めてきたのがきっかけで、今では200種類以上あります。ジン

は使っているボタニカルやフルーツの味が拾いやすいので、ワインやウイスキーよりも敷居が低くて、お酒の初心者にも本当におすすめです」神田エリアだけに客層もバラエティ豊か。平日は近所の会社員がメインですが、土曜日など休日になると20代のカップルから、外国人旅行者、クラフトジン愛好家まで、さまざまな方がやってくるといいます。フードメニューも充実しているせいか、なかにはレストランのように食事を目的にいらっしゃるお客さんもいるのだとか。「神田はプライベートでも遊びにくるぐらい好き。賑やかすぎず混みすぎず、落ち着いたいてちょうどいいですね(笑)。女性バーテンダーも働きやすい。神田のバーは初めての人もぴったりだと思いますよ」

「シンガポールリング」

お店のおすすめの1杯がこちら。シンガポールの「ラッフルズ・ホテル」の伝統的なカクテルをアレンジ。ドライジンをベースに、パイナップルをたっぷり使ったフルーティーな1杯。お酒が苦手な女性にも人気だとか。前菜の盛り合わせも満足度の高い一皿。



「ボビーズジントニック」

岡村さんが初心者におすすめしたいクラフトジンがオランダ産の「ボビーズ・ジン」。強烈なレモンガラスの香りがインパクト大。香りがフルーティーなので、トニックで甘みを足して飲むのがベター。



Cocktail Works 神保町
東京都千代田区神田小川町3-7-13 ヴァンサンクビル1階
03-6886-2138
17:30-翌2:30 日祝休
https://orchardknight.com/bar/jimbo_cho

PHOTO WALL

gooddays channel

KANDA Walking Guide

Guide

Jimbo cho
to
Nishiki cho

gooddays編集部が歩いて回れる
おすすめ神田ルートをご紹介します。
今号は仕事終わりに行きたいバーで、
神田・神保町をイメージしたカクテルを
作っていただきました。ぜひお気に入り
を見つけてみては？



1

Cocktail Works 神保町
東京都千代田区神田小川町
3-7-13ヴァンサンクビル1階
03-6886-2138
17:30~翌2:30 日祝休
https://orchardknight.com/bar/jimbo_cho



岡村菜穂子さん



「そばと春ウコンの
モスコミュール」

「神田といえば、蕎麦屋や
江戸っばさ。あとは季節感
も意識して」と岡村さん。そ
ばの香りと生姜が利いて、
きりっと爽快な味わい。

2
街路
東京都千代田区神田神保町1-2-5
03-3518-9168
月-木15:30-23:00 金16:30-23:30
土16:30-21:30 日休



「和ウオッカマティニー」
日本のお酒を使用した
カクテルで、シンプルで
深みのある味わい。



塚本豊さん

2016年10月に創業したオーセンティックバー。江戸時代から現代までのあらゆる時代の雰囲気を持つまちだと感じ、このエリアでお店をスタートさせたそう。お酒は100種類以上揃えており、自分自身の状況や気分に合わせてお酒を提供してくれます。

3

Bar Plat
東京都千代田区神田神保町1-14ミツウ神保町ビル B1
03-3296-3666 平日19:00-2:00 土19:00-1:00 日祝休

「アンティーク」

1960年代瓶詰め、1980年代瓶詰めの古酒を使用したカクテルは古書を手に取った際の暖かみ、ページをめくる際の紙の香りをイメージ。



伊藤史嗣さん

ウイスキーやブランデーなど、幅広く奥行きのある蒸留酒の品揃えが特徴のバー。お店のコンセプトは「発見」。初めて飲むお酒が口に合わなかったとしても、自分の好きなお酒の位置を改めて再確認できるので、素朴な疑問や興味でセレクトする楽しみ方もおすすめのこと。



上田けいさん

「シンガニエスプレッソ
マティニー」

ご近所にある自家焙煎のコーヒー豆屋「豆香房」の豆で淹れたエスプレッソを2杯分使った贅沢なカクテル。コーヒーのコクとクリーミーな口当たりで豊かな飲み心地。

5

CLOVER CLUB

東京都千代田区神田錦町2-16-11
エルヴァージュ神田錦町1F
03-6773-7069
火-金18:00-26:00 (L.O. 25:30)
日・祝18:00~24:00 (L.O. 23:30) 月休



小林汐夏さん

4

Highlands Bar

東京都千代田区神田神保町1-11 佐藤ビル2階
03-3219-0600
平日19:00-23:00 日・祝
<http://highlands-bar.jp/>

「神保町茶割」

神保町といえばカレーと喫茶店でお茶をしているイメージだそう。カルダモンの焼酎とアールグレイをあわせた飲みやすい茶割に。

誰かの家に遊びに来たような、UKロックの流れるあたたかい雰囲気のバー。ももとはオーナーの同級生が集う空間だったという。今はおひとりさまで来店したお客さん同士が会話を楽しんで過ごしていることが多いそう。1番人気なのはジントニック。

こんなところにもバーがある!



今本義子さん

本屋さんにもバーがあるというのもこのまちならではの。ももとは本をしまっていた倉庫だったこのバーは、裏通りの扉から入店。本に囲まれてお酒を楽しむ秘密基地のような空間が広がります。バーでありながらフードが充実しているのも特徴。

サクッと軽いカレーパンは、揚げていないのでベロリと食べられます。絵本「からすのパンやさん」のお皿で提供されるのも、本屋さんならではの。

ブックハウスカフェ バー リリパット
東京都千代田区神田神保町2-5北沢ビル1F
平日20:00-23:00 土・日・祝休
<http://bookhousecafe.jp/>



4年ぶりの開催!

神田祭 REPORT



神田祭が4年ぶりに開催されました。5月13日に行われた神幸祭では、出発を告げる「発籠祭(はつれんさい)」をひと目見ようと、神田明神に多くの人押し寄せ、神幸祭の無事を祈願しました。一本締めめのち行列が神田明神から出発。各町会を回っていきます。夕刻になると「附け祭(つけまつり)」が合流し、より賑やかな雰囲気。勇ましい9騎の騎馬武者が列を成す

「相馬野馬追騎馬武者行列」や、個性豊かな曳き物・仮装行列が登場し、ともに神田明神を目指します。おなじみの「浦島太郎」や「花咲か爺さん」に加え、御奉祀150年を記念した少彦名命(すくなひこなのみこと)の曳き物など、今年初登場のものも。沿道からは歓声が上がりました。附け祭の一行が神田明神に到着し始めると、最後尾の東京藝術大学の学生たちは「ジンベ

エザメ」の曳き物とともに、エネルギー溢れるパフォーマンスを披露。観客にも一体感が生まれ、年齢・国籍問わず多くの人音が合わせて体を揺らす姿が印象的でした。そして午後7時過ぎには、神幸祭の行列が約30kmの巡行を終えて神田明神に帰着。境内を埋めつくすほどの人が見守るなか、町々への巡行を無事果たしたことの奉告と感謝の神事・着籠祭(ちゃ

くれんさい)が執り行われ、木遣りによって締めくくられました。また5月14日の神輿宮入(みこしみやいり)では、大小200を超える各町の神輿が神田明神を目指しました。続々と宮入する神輿の壮大な景色と迫力に思わず圧倒されます。2年に1度開催される「神田祭」。今年初めて見物したという人も、次回は参加してまちの熱気を感じてみてはいかがでしょうか？

PHOTO WALL Vol. 15

テラススクエア
フォトエキシビジョン
2023/5/22(月) ~ 2023/8/18(金)
開館時間8:00-20:00(最終日のみ18:30まで)
休館日 土日祝 入場無料

テラススクエアでは、パブリックスペースを活用した
フォトエキシビジョンを開催中。
高校生のポートレートから感じられるものとは

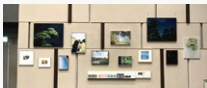


TERRACE SQUARE PHOTO EXHIBITION #27

NEW TEXT 2013-2019

本作は日本全国で撮影した高校生のポートレートで、長く撮り続けてきた作品。これらのポートレートは、時代の記録という側面があるのももちろんだが、どこかの土地で、懸命に考え生きている若者の存在に触れることで、ぼくたちの価値観をもう一度捉え直すきっかけになるのではないと思う。また、被写体と同世代の若い人には、自分は決してひとりではないと勇気づけられたらいいなと。

関西出身ということもあり、神田は、今回の展示の機会まであまり馴染みがなかった場所。オフィスビルが多く立ち並ぶ印象があるが、建物は新旧入り混じっていて、新しいものだけでなく歴史のようなものも確かに感じる不思議な感覚のするエリア。写真ギャラリーがあるイメージがあまりないので、それだけに全く新しい客層の方々に見ただけそうな予感がしている。(小野啓)



テラススクエア
東京都千代田区神田錦町3-22

小野啓 KEI ONO

京都生まれ。2002年より日本全国の高校生のポートレートを撮り続けている。写真集『青い光』(2006)を経て、10年間の集大成となる『NEW TEXT』(2013)で第26回「写真の会」賞受賞。『桐島、部活やめるってよ』(朝井リョウ)、『アンダスタンド・メイビー』(島本理生)など装丁写真も数多く手がけている。

EVENT REPORT 2023/Spring

路上実験イベント「なんだかんだ」

「あたらしい神田の縁日をつくろう!」をテーマに、3月31日、4月1日の2日間、路上縁日イベント「なんだかんだ」が開催されました。路上に畳を敷き詰めて、かるた大会やストリート写真館などを実施。道がたのしいと、歩きたびにたのしい光景がすぐに目に飛び込んできて街自体がその空気に包まれていくことを実感できます。近所さんやゆかりのある方が集まって、あたらしい出会いや体験を楽しむ場がたくさん生まれました。



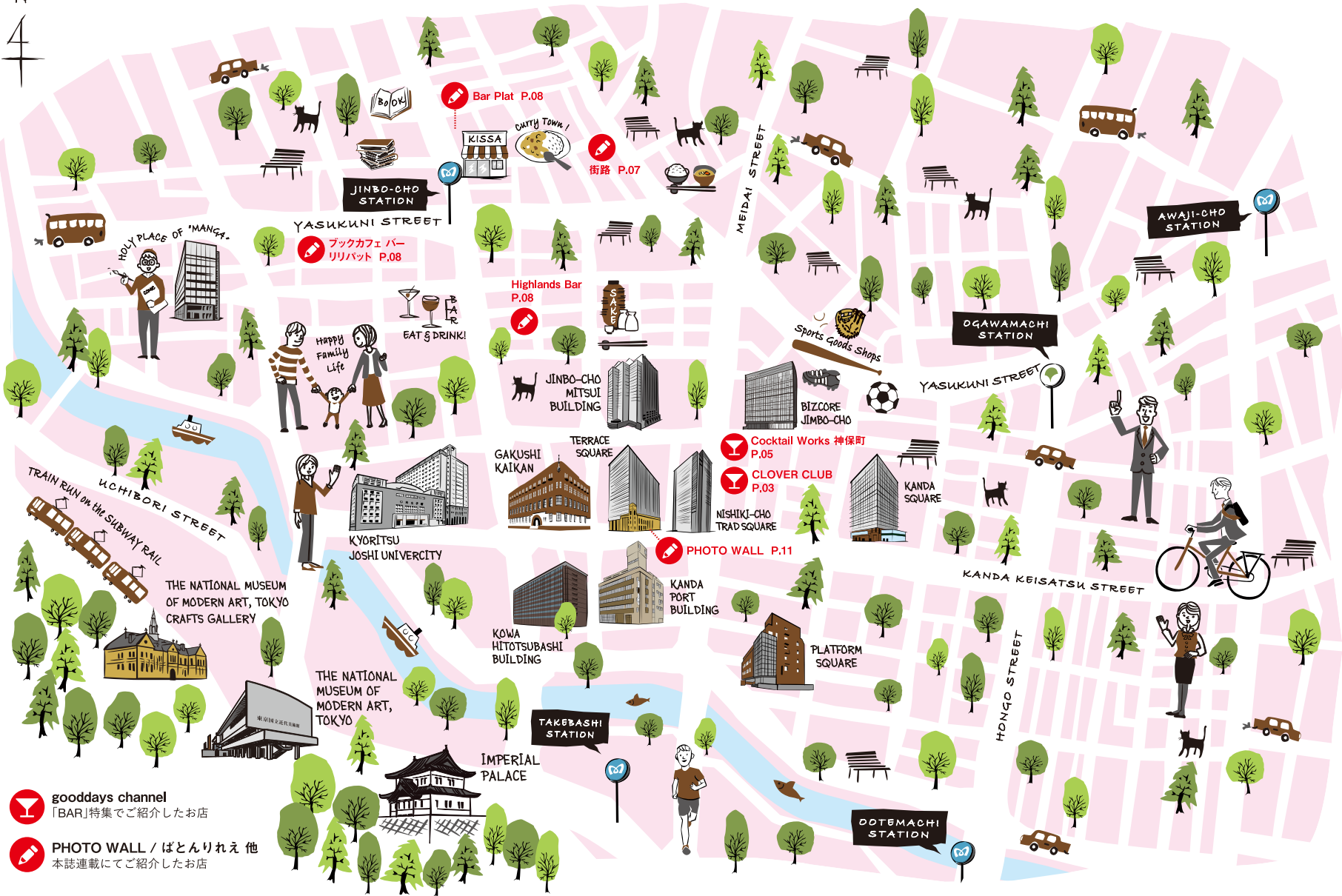
錦三縁日

4月28日に神田ポートビル前の道路、神田税務署駐車場にて「錦三縁日」が開催されました。錦町三丁目町会の錦三大神輿建立90年を祝した本イベントは、たくさんの飲食屋台や遊び場が用意され、大人はお酒を飲みながら語り合い、子どもたちは楽しそうに走り回っています。道路では、正則学園高等学校の生徒たちによる、お祭りをイメージして5分で花を生ける「ストリート花いけバトル」や、錦町になんだクイズ大会が行われ、皆で大盛り上がり。最後は神田一本締めで幕を閉じました。

COFFEE COLLECTION 2023

「COFFEE COLLECTION」が5月3日、5月4日の2日間にわたり、KANDA SQUAREと竹橋スクエアにて開催されました。「Natural部門」「Washed部門」「Innovation部門」と、コーヒーの精製方法で部門を設けて審査会を実施。今回はそれぞれ勝ち上がった上位2店舗を含む計11店が出店しました。3種類飲み比べチケットも用意されており、いろんな店を楽しむもよし、気に入った1杯を味わうもよし。大盛況のイベントとなりました。





AREA MAP

 **gooddays channel**
「BAR」特集でご紹介したお店

 **PHOTO WALL / ぼとんりれえ 他**
本誌連載にてご紹介したお店



gooddays

クラティス 2023.7.20 発行 / 発行・編集：クラトモーニングス株式会社 水代 優 www.goodmornings.co.jp

